会　議　記　録

<table>
<tr><td colspan="2">名　称</td><td>中央区スポーツ推進審議会</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催年月日・場所</td><td>令和５年２月１６日（木曜日）
午前１０時００分から午前１０時４０分まで
区立中央会館「銀座ブロッサム」　集会室　ミモザ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出席者の氏名</td><td>委員</td><td>（出席委員）
近藤 智靖（会長）、坂 なつこ（副会長）、ヨーコ ゼッターランド、草川 功、木本 慎一、森田 俊秀、濱田 徹、生島 憲、平松 功治、箕輪 恵美</td></tr>
<tr><td>区側出席者</td><td>鎌田スポーツ課長、石川体育施設係長、籠山スポーツ事業係長、中牟田主事</td></tr>
<tr><td colspan="2">配付資料</td><td>１　令和４年度第３回中央区スポーツ推進審議会次第
２　議題資料
（１）主なスポーツ関連事業の令和４年度実施結果及び令和５年度予定について
（２）令和５年度以降の総合スポーツセンターについて</td></tr>
<tr><td colspan="2">議事の概要</td><td>１　開会
２　議題
（１）主なスポーツ関連事業の令和４年度実施結果及び令和５年度予定について
（２）令和５年度以降の総合スポーツセンターについて
（３）その他
３　閉会</td></tr>
<tr><td colspan="2">審議の経過</td><td>別紙のとおり</td></tr>
</table>

令和４年度第３回スポーツ推進審議会会議録

令和５年２月１６日
午前１０時００分～１０時４０分
区立中央会館「銀座ブロッサム」
集会室　ミモザ

１　開　会

○　会長から開会の宣言

○　会長が、委員の定足数を満たし、本日の会議が有効に成立していることを報告

２　議　題

（１）主なスポーツ関連事業の令和４年度実施結果及び令和５年度予定について

○　事務局（スポーツ課長）から主なスポーツ関連事業の令和４年度実施結果及び令和５年度予定について報告

（主な報告・意見・質問の内容）

－ゼッターランド委員－

・協働事業の参加者が少ないので周知が課題であるとのことだが、参加者への事後アンケートや事後インタビューは行ったのか。

－スポーツ課長－

・本事業は地域スポーツクラブへ委託し実施しているもので、地域スポーツクラブが事後アンケートを実施し、また、参加者の声も直に聞いている。参加者がこの事業の情報を得た機会としては、特に子どもは、特別支援学校や特別支援学級に配布したチラシを見て、友達を誘って参加している。また、区のＨＰや事業の中で今後の予定を伝え、周知している。感想としては、様々な種目があって楽しいなどの意見をいただいており、好評である。

－ゼッターランド委員－

・ＨＰでの周知とあったが、アクセス数はいかがか。

－スポーツ課長－

・アクセス数は把握していないが、地域スポーツクラブのＨＰもあるので区のＨＰと連携を図っていきたい。

－近藤会長－

・楽しさ発見事業については、来年度の指導者を既に４名ほど考えている。

・野球は、元中日ドラゴンズのピッチャーであり、日本体育大学硬式野球部の投手コーチで、ドラフト１位であった矢澤選手の恩師にあたる人が指導者の予定である。投げる・打つを子どもたちに教えたいという意欲があり、日本体育大学硬式野球部が協力してくれる。

・ブラインドスポーツについては、精通している人がおり、ゴールボールなどを予定している。千葉県の小中学生に対し指導実績が多数ある。

・かけっこ教室については、今年度と引き続き全国で教えている人が対応する。

・卓球については備品等調整中であるが、全体的に面白い事業になるよう行っていく予定である。

－坂副会長－
・今年はフランスにてラグビーワールドカップがある。2019年のときは中央区を中心に様々なイベントを行っていた。また、再来年にはパリでオリンピック・パラリンピックが開催される。このようなことを踏まえて、子ども達がスポーツに関心を持つことや、障害者スポーツの注目を喚起する中、いろいろなイベントがあると思う。特に、コロナ明けで健康に気を遣う昨今、運動意欲も増しており、スポーツの楽しさ発見事業の応募者数もそれが反映されていると考えられる。このようなことやデフリンピックを踏まえ、中央区でロードマップの作成など考えていることはあるか。
－スポーツ課長－
・大きな大会については、来年マラソングランドチャンピオンシップもあり、中央区もコースの一部となっている。区としても主催者と連携を取っているところである。その他の国際大会については、子どもたちへのスポーツの推進や健康づくりの位置づけを明確に決めてはいないが、スポーツを広めるきっかけとして中央区ラグビー協会の方とお話もさせていただいている。
－草川委員－
・中央区自立支援協議の医療的ケア児支援連携部会にも所属しているが、協働事業などの障害者スポーツの案内は降りてきていない。こういった団体にも周知をしたらどうか。
－スポーツ課長－
・区の福祉部署とは話をしているところではあるが、より多くの場で周知を図れるように、ご紹介いただいた団体など庁内で確認を取りながらより連携していけるようにしたい。
－ゼッターランド委員－
・東京開催のデフリンピックを踏まえ、様々な事業を行うとは思うが、ぜひボランティアを促進する動きを活発化してほしい。ボランティアは東京２０２０オリンピック・パラリンピックのレガシーでもある。デフリンピックを知らない人も多くいる中そういった形の世界大会があるということを知ってもらえる機会であり、ボランティアを通して聴覚障害への理解も深まると思うので、ぜひお願いしたい。
－平松委員－
・情報提供で、銀座中学校の特別支援学級があり、ＯＢ会である、かえで学級があり、銀座中学校の施設でスポーツなどをしている。例年５月後半に開級式があるので、そこで周知するとより広く周知されると思う。
－スポーツ課長－
・かえで学級にはチラシを配布させていただいているが、周知のタイミングなどより有効に行えるよう考えていく。
－木本委員－
・特にスポーツ楽しさ発見事業の周知の方法が適切なのか。多数の応募者数に対し当選者数や参加者が少ない。また、当選者数についても再検討するべきなのでは。
－スポーツ課長－
・ＨＰ、区のおしらせの他に、小学校全児童にチラシを配布し周知を行った。それにより多くの人の興味をもっていただき、多数の応募になった。当選者数については、事業がうまく運営できるような人数に設定しているが、コロナ禍の影響もあり、結果

的に参加者数が少なくなっている。応募者数が多かったことを踏まえ、今年は子どもたちが途中で飽きてしまったマット運動の様子なども鑑み、二部制を取り入れるなど多くの人が参加できる実施方法を検討していきたい。

－濱田委員－

・全般的に、昔は往復はがきなどが主流であるのに対し、今はＳＮＳで気楽に申し込める。さらに区事業が無料であることを受け、昔よりキャンセルが多い傾向にあるように感じる。便利である反面、課題も感じる。

－森田委員－

・協働事業の参加者が少ないことに対し、かえで学級にも関わっている立場として、障害者団体は多くあり、土日に活動を設けていることが多いと実感している。かえで学級等に周知はされていても、他のイベントと重複しているように思う。また、同日や同種の複数のイベントに応募し、当選してから参加するものを選んでいるように感じる。庁内のイベントは調整ができると思うが、特に民間のイベントと日程調整するのは難しいと感じる。

－箕輪委員－

・出前の制度はいかがか。かえで学級などが設定したところに行く事業になるとより使いやすくなるのではないか。学校・幼稚園なども来ていただけると多々ありがたい部分もある。そのような取り組みが、その事業をより広めるし、きっかけにもなると思う。

－近藤会長－

・何年かやりつつも、試行し、まずは、周知が課題でもあるが、さまざまな方法を取り入れていければいいのではないか。

（２）令和５年度以降の総合スポーツセンター等について

○　事務局（スポーツ課長）から令和５年度以降の総合スポーツセンターについて報告

（主な報告・意見・質問の内容）

特になし

（３）その他

○　会長からその他議題があるか委員及び事務局に確認

（主な報告・意見・質問の内容）

特になし

３　閉　会

○ 会長の閉会挨拶により終了